|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **小論文タイトル** | | | | | | | | | |
|  | タイトル  ～サブタイトル（設定しない場合は削除してください）～ | | | | | | | |  |
| **応募者情報の記入例　＜記入例を参考に、応募者１＜代表者＞以下をご記入ください＞** | | | | | | | | | |
| フリガナ | ニチギン |  | | | グランプリ |  | 学校名 | 日銀大学 |  |
| 姓 | 日銀 | 名 | | | グランプリ |  | 学部名 | 情報サービス学部 |  |
| 年齢 | ２０歳 |  | | |  |  | 学科・専攻名 | グランプリ学科 |  |
| 電話番号 | 0332791111 | ＜ハイフン不要、携帯電話可＞ | | | | | 学年 | 3年 |  |
| E-mail | post.prd3@boj.or.jp | | | | | ＜携帯電話のアドレスは不可＞ | | |  |
| **応募者１＜代表者＞** | | | | | | | | | |
| フリガナ |  | |  |  | |  | 学校名 |  |  |
| 姓 |  | | 名 |  | |  | 学部名 |  |  |
| 年齢 | 歳 | |  |  | |  | 学科・専攻名 |  |  |
| 電話番号 |  | | ＜ハイフン不要、携帯電話可＞ | | | | 学年 | 年 |  |
| E-mail |  | | | | | ＜携帯電話のアドレスは不可＞ | | |  |
| **応募者２** | | | | | | | | | |
| フリガナ |  | |  |  | |  | 学校名 |  |  |
| 姓 |  | | 名 |  | |  | 学部名 |  |  |
| 年齢 | 歳 | |  |  | |  | 学科・専攻名 |  |  |
| 電話番号 |  | | ＜ハイフン不要、携帯電話可＞ | | | | 学年 | 年 |  |
| E-mail |  | | | | | ＜携帯電話のアドレスは不可＞ | | |  |
| **応募者３** | | | | | | | | | |
| フリガナ |  | |  |  | |  | 学校名 |  |  |
| 姓 |  | | 名 |  | |  | 学部名 |  |  |
| 年齢 | 歳 | |  |  | |  | 学科・専攻名 |  |  |
| 電話番号 |  | | ＜ハイフン不要、携帯電話可＞ | | | | 学年 | 年 |  |
| E-mail |  | | | | | ＜携帯電話のアドレスは不可＞ | | |  |
| **応募者４** | | | | | | | | | |
| フリガナ |  | |  |  | |  | 学校名 |  |  |
| 姓 |  | | 名 |  | |  | 学部名 |  |  |
| 年齢 | 歳 | |  |  | |  | 学科・専攻名 |  |  |
| 電話番号 |  | | ＜ハイフン不要、携帯電話可＞ | | | | 学年 | 年 |  |
| E-mail |  | | | | | ＜携帯電話のアドレスは不可＞ | | |  |
| **指導教員　＜ゼミ演習の一環でのご応募の場合は、こちらもご記入ください＞** | | | | | | | | | |
| 姓名 |  | |  | E-mail | |  | | |  |

下記水色の欄に小論文のタイトルと応募者情報等をご記入ください。なお、ご記入いただいた個人情報は、日銀グランプリ関係の連絡・発表以外の用途には使用しません。

応募に際しての確認事項

応募に際しての注意や著作権の取扱い等をご確認いただき、下記水色の欄に〇印をご記入ください。また、アンケートへのご協力をお願い致します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 第20回日銀グランプリへの応募論文（以下、本応募論文とします。）は、他のコンクール等への二重投稿をしていません。 |  |
| 2 | 本応募論文は、未公表の論文です。ホームページ、ブログ、インターネット上などで、広く学外に公表していません。 |  |
| 3 | 本応募論文は、ページ数、文字数、図表数、ファイル容量等の応募形式を遵守しています。また、応募用フォームのファイル形式やページ設定を日銀グランプリ運営事務局（以下、事務局とします。）に無断で変更していません。 |  |
| 4 | 本応募論文の執筆にあたり、他の文献等からの引用・転載した箇所はすべて、該当箇所を明確にしたうえで、出所等を本応募論文内に明記しています。 |  |
| 5 | 本応募論文内に、著作権やその他の知的財産権を含む第三者の権利を侵害する恐れがある表現がある場合は、応募者の責任において必要な許可を取っており、日本銀行が本応募論文を利用するにあたり問題はありません。 |  |
| 6 | 本応募論文の執筆にあたり、生成AIを利用して作成した文章を用いていません。文章作成以外の用途で生成AIを利用した場合は、事務局に別途申し出ます。 |  |
| 7 | 入賞論文（および決勝大会進出の場合はプレゼンテーション資料）の著作権は、日本銀行に帰属することを承諾します。このため、所属する学校の広報目的等で本応募論文を利用する場合には、日本銀行に利用許諾にかかる申請をします。 |  |
| 8 | 入賞した際には、本応募論文（含む応募者の氏名、大学・学部名）、プレゼンテーション資料および決勝大会の模様（写真・動画）やそれを編集した資材が、日本銀行ホームページ等に掲載されるなど、日本銀行の広報に利用されることを予め承諾します。 |  |
| 9 | 日本銀行が広報に利用する際に、本応募論文およびプレゼンテーション資料内に個別企業名や商品名等の固有名詞に関する表記がある場合や、可読性・視認性を向上する必要があると事務局が判断した場合などには、事務局が本応募論文およびプレゼンテーション資料を適宜改変することを予め承諾します。 |  |

※アンケート（該当する項目について、下記水色の欄に〇印をご記入ください）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Q | 日銀グランプリの応募のきっかけはなんですか？（複数回答可） |  |
| １ | 日本銀行のホームページをみて |  |
| 2 | 日本銀行のSNSをみて |  |
| 3 | チラシやポスターをみて |  |
| 4 | ゼミ演習の一環として |  |
| 5 | 大学の先生・先輩・友人に勧められて |  |
| 6 | その他（具体的にご記入をお願いします：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |

タイトル

～サブタイトル（設定しない場合は削除してください）～

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日銀大学 | 情報サービス学部 | 日銀　グランプリ |
| 〇〇大学 | △△学部 |  |
| 〇〇大学 | △△学部 |  |
| 〇〇大学 | △△学部 |  |

＜要旨＞400字以内

テキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキストテキスト

※本文＜4,000字以上6,000字以内＞はこのページ［タイトル・要旨の後］から開始してください。なお、図表は本文の後にまとめてご記載いただき、本文中に挿入しないでください（このインストラクションは削除のうえ、ご提出ください）。

■図表

※図表は、このページ［本文の後］以降にまとめてご記載いただき、本文中に挿入しないでください。図表数は５つまでとし、下記を参考に図表番号、タイトル、出所を明示してください。なお、図表内の凡例の色などは、白黒印刷をした際にも判読しやすいことを考慮のうえ、ご選択ください（このインストラクションや下記の例示は削除の上、ご提出ください）。

図表１：タイトル

出所）〇〇〇

図表２：タイトル

出所）△△△

■参考文献一覧

※参考文献一覧はこのページ［図表の後］以降にご記載ください。下記のルールに従って、記載例を参考にご記入ください（このインストラクションや下記のルールおよび例示は、削除のうえ、提出してください）。

※参考文献一覧の作成ルール

・文献（ここでは、書籍、論文、ウェブサイトなど参照したものをすべて指します）は、日本語と外国語に分けてリスト化し、日本語文献→外国語文献の順に並べてください。

・文献の記載順は、日本語文献は第1著者の姓のアイウエオ順、外国語文献は第1著者の姓のアルファベット順にしてください。なお、著者の姓名はフルネームをご記載ください。

・参考文献の表示項目・記載順・スタイルは、文献の種類によって以下の通りとします。

［日本語書籍］著者名、「タイトル」、『書名』、発行元、発行年

［日本語論文］著者名１・著者名２、「タイトル」、『雑誌名』、掲載巻号数（雑誌掲載論文の場合）、発行元（明らかな場合）、発行年、掲載ページ

［日本語ウェブサイト］著者名、「タイトル」、ウェブサイト名、発行元、発行年、（URL、筆者自身の最新アクセス日付）

［外国語書籍］著者名、"タイトル"、*書名*（*雑誌名*）、発行元、発行年

［外国語ウェブサイト］著者名, "タイトル", ウェブサイト名, 発行元, 発行年 (available at URL, 筆者自身の最新アクセス日付)

　例：

　青木浩介・須藤　直、「銀行の資産選択と物価変動」、日本銀行ワーキングペーパーNo.12-J-4、日本銀行、2012年

　日本銀行、「学生向けコンテスト「第19回　日銀グランプリ」決勝大会の模様（動画、講評、プレゼン資料等）および奨励賞論文要旨」、日本銀行、2024年（https://www.boj.or.jp/about/nichigin\_gp/ngp\_release/ngp240205.htm、2024年5月7日）

　日本銀行、『日本銀行百年史　資料編』、日本銀行、1986年

　Shirota, Toyoichiro and Satoshi Tsuchida, "Aggregate Implications of Changing Industrial Trends in Japan," Bank of Japan Working Paper Series No.24-E-2, Bank of Japan, 2024.